

平成 29 年 1 月 10 日～ 1 月 12 日

友田 秀明

ボートレース江戸川の経営・施設概要

施行者は東京都六市競艇事業組合（八王子市・武蔵野市・昭島市・調布市・町田市・小金井市）と東京都三市収益事業組合（多摩市・稲城市・あきる野市）で平成 24 年から運営を「関東興業株式会社」へ委託している。

運営を民間へ委託することにより、既存の近隣駅との送迎バス（往復無料）だけでなく、マイクロバスを 5 台購入し平井駅との送迎を開始したり m プレミアムラウンジや女性専用ルームさらに個室及びカラオケルームを開設し、28 年 9 月からは場内アテンドガールズ「E ウェーブス」を結成し（多分容姿で選抜）入場者への挨拶等ファンサービスの向上に努めていてさらに初心者教室もおこなっていて公営では不可能に近いサービスを展開して売上増に取り組んでいる。ただ施設会社に委託している為利益分配金は、六市が 1 市当たり 1 千万円 3 市が 2 千万円、その他 9 市で 2 億円と管理運営は楽になったが利益配分は定額で面白みに欠けるのではと思う。また荒川及び中川 ボートレース徳山は周南市単独で施行も周南市だから今後の取り組み如何によっておおきな伸びに期待ができる。

東京ディズニーランドのすぐそばに千鳥学校給食センターがある。

1 PFIに決定した経緯として昭和51年9月に竣工した給食センターの老朽化の対策として平成10年に教育委員会内に浦安市学校給食検討委員会を設置、13年2月効率的な財政運営の視点も踏まえ総合的に検討するために、助役を委員長とし、総務・経営企画関係部課長を加えた組織に変更し、今後の学校給食のあり方の検討を行い、15年2月PFI方式(BTO)サービス購入型の導入や事業期間、業務範囲を示し16年2月実施方針の公表16年4月特定事業の選定・公表を行い実施となった。

2 PFI方式のメリット・デメリット

メリット ①低廉かつ良質な公共サービスの提供 料理が良くなった
②リスク分担の最適化 行政と民間の2者で分担できる ③官民の役割分担の見直しと民間の事業機会の創出 ④財政負担の平準化

デメリット ①公共サービスの品質の低下を招く可能性 これまで以上の行政の民間業務状況把握と管理が必要 ②事前手続きに要する業務の増加 事業を任せる企業を選ぶ際に、価格だけでなく企業のノウハウや事業計画の内容についても評価しなければならないため、これまで以上に事前手続きが必要。とデメリット以上にメリットが上回り、所長の「直営なら人事異動で調理員との従事年数等で地位の逆転現象が起きていたことの解消ができた人的運営が非常に楽になった」と率直な感想に驚くとともに納得した。

御殿場市 PFI 方式による学校給食センターの運営・概要 友田秀明

平成 22 年 6 月竣工し 9 月 1 日から開始したオール電化方式のセンターで株式会社関電工他 4 社で構成、浦安市との大きな違いは建設までは PFI 方式による学校給食センターだが調理等運営は御殿場市の直営であり、浦安市と比較すると、全てを PFI 方式による学校給食にするほうがメリットが高いと思う。

PFI の契約期間が 15 年（浦安市・御殿場市）の根拠は両市とも不明確で正直な所何故 15 年かとの質問にたいしては、一番触れられたくないとのことだった、多分調理機器等の耐用年数とか、民間の事業として雇用面で最低このくらいの期間でないと雇用（人的確保）の問題とか、言わずらい事なのかあいまいであった。今後の課題として建物・機器等の老朽化等の耐用年数を含めた対策など 15 年めの契約更新時が大きな問題になると言われ、市職員の知識だけでは対応しきれない、コンサルの力が必ずいる、そのコンサルの選定を間違えると大変な事になると危機感を持って対応しなければならないと、貴重な情報を得た。

平成29年 1月10日(火)江戸川競艇場視察報告書

尾崎隆則

江戸川競走場は、区の西部を流れる荒川及び中川に面し、一級河川である中川を競争水面としている全国で唯一の河川を使用したレースコースである。従って、河川法の制約や気象等に配慮しつつ競技運営を行っており、法令許容範囲の中で効果的な方策を講じつつ現在に至っている。

東京都六市競艇事業組合は、八王子市・武蔵野市・昭島市・調布市・町田市・小金井市で管理者は武蔵野市長である。

また、東京都三市収益事業組合は多摩市・稲城市・あきる野市で管理者は稲城市長である。

運営受託者は関東興業株式会社で敷地総面積は12,645㎡・収容人員は23,807人・職員数は11人(六市組合7人・三市組合4人)。

私感

施設会社が関東興業ということで、施設の規模・場内の設備など今まで視察した中では群を抜いている。1級河川を使用しているレースということで、他の船舶の往来時には中断することや、川の流れ、風による波などでレース展開は、すごく面白かった。

平成29年1月11日 千葉県浦安市

PFI方式による学校給食センターの運営 尾崎隆則

1、PFI方式導入の経緯

昭和51年9月に竣工した旧東野学校給食センターの老朽化・衛生管理の強化・住宅開発に伴う児童生徒の増加などで、調理能力の限界等の状況から平成10年3月、教育委員会内に「浦安市学校給食検討委員会」を設置。平成13年2月には財政運営の視点も踏まえ総合的に検討するため、助役を委員長とした総務部・経営企画部の関係部課長を加えた組織に変更し、今後の学校給食のあり方を検討した。議会には平成15年1月に中間報告・12月には最終報告書を作成し、PFI方式(BTO)サービス購入型の導入や事業期間・業務範囲等を示し、平成16年2月実施方針の公表・4月に特定事業の選定、公表を行い、本事業がPFI方式により実施すると決定。

2、メリット・デメリット

- メリット＝
- * 低廉かつ公共サービスの提供（栄養管理）。
 - * リスク分担の最適化。
 - * 官民の役割分担の見直しと民間の事業機会の創出。

* 財政負担の平準化。

デメリット= * 公共サービスの品質の低下を招く可能性
これまで以上の行政の民間業務状況把握と管理指導が必要。

* 事前手続きに要する業務の増加
業務を任せる企業を選ぶ際には、価格だけでなく企業のノウハウや事業計画の内容についても評価しなければならないため、これまで以上に事前手続きが必要。

平成16年10月 東洋食品グループを落札者と決定

「東洋食品グループ」

代表企業	株式会社東洋食品
設計企業	株式会社榎本建築設計事務所
建設企業	鹿島建設株式会社東京支店
運営企業	株式会社東洋食品
廃棄物処理企業	株式会社市川環境エンジニアリング浦安支店
厨房設備企業	日本調理機株式会社千葉営業所

維持管理企業	株式会社ダイワサービス
設備工事企業	三和設備工業株式会社東関東支店

削減効果＝市積算の財政支出との比較の結果、30%の削減が

見込まれ運営面において、安全・衛生面での向上が

図られ良質的な給食サービスが提供できると期待する。

私感

浦安市千鳥学校給食センターは平成18年4月より市内全小学校（17校）を2棟の調理場で提供している。調理能力は1棟6,500食であるが、9校を5,500食・8校が5,000食の調理。また、同じ敷地内に中学校（9校）のセンターを第三調理場として建設し、平成24年4月から運用を開始している。

周南市では、新南陽のセンターと徳山西センターをPFI方式で建設しようとの計画が進められているが、検討委員会の設置や計画内容が十分な説明がないままに取り組みようとしている。

12月議会の債務負担行為で約2,500万円のアドバイザー予算が可決したが、「株式会社長大はどのような会社なのか」周南市に

マッチングするのか。担当職員には大変な負担になるのではないのか。浦安市の視察ですごく心配になった。

このことについては、このたびの視察内容を精査し、議場で確かめる決意とした。

平成29年1月12日 静岡県御殿場市

PFI方式による学校給食センターの運営について 尾崎隆則

1、施設概要

(1) 敷地面積=7,388,08 m^2 ・延床面積=2419,31 m^2
建物構造=鉄骨造2階建 調理方式=オール電化ドライシ
ステム方式 調理能力=1日5,000食

(2) 事業費

南学校給食センター整備事業=1,867,035千円

施設整備費等=1,343,898千円

維持管理・運営費=523,137千円(維持管理・運営費
は契約書に物価変動に基づく改定条項がある)

履行期間=平成20年9月~平成38年3月末

平成27年度支払額=100,447千円(施設整備費68,
331千円。維持管理・運営費32,116千円)

2、調理概要

アレルギー食対応

* 特別調理室(アレルギー食対応)はあるが、体制が整っていない
ため、アレルギー食対応は行っていない。

- * アレルギーの調査については、年一回、各学校を通して実施している。
- * 牛乳アレルギーの児童・生徒については、飲用牛乳を停止し、牛乳代は集金していない。
- * その他のアレルギーについては、申し出のあった児童・生徒には、アレルギー物質をチェックした献立表を渡しており、各自で除去している。

3、環境対策

(1) 臭気・騒音・排水

維持管理・運営費の中でPFI受託業者が対応し、報告書
をもらう。

(2) ゴミ処理

- * 生ゴミの堆肥化処理を23年度より「御殿場市一般廃棄物
処理事業協同組合」に収集・運搬を含めて受託している。
- * 市内の養豚業者にご飯・パン・麺・野菜類（キャベツ、
人参等）を飼料として回収してもらう。

4、運営方式

- (1) 調理は直営。学校での配膳は委託。

給食の配送・回収、施設管理は維持管理・運営費の中で受託業者が対応。

(2) 職員体制＝36人

(3) 運営費（27年度）

電気料＝25,181,396円

水道料＝6,672,590円

配膳委託料＝23,558,861円

生ゴミ収集・運搬・処分＝1,393,843円

土地借上料・財産区所有＝3,029,080円

5、給食費

小学校＝1食260円 月額4,300円 年47,300円

中学校＝1食315円 月額5,200円 年57,200円

設計管理	株式会社池田建築設計事務所
建築主体工事	渡辺建設株式会社
厨房設備工事	株式会社アイホー
機械設備工事	株式会社関電工
電気設備工事	株式会社関電工

私感

今まで2ヶ所あった給食センターは、昭和54年と昭和61年に建設されたもので、施設や設備の老朽化が進んでいたため、統合して富士山のふもとに南学校給食センターが建設されていた。間近で富士山を拝見したのは始めてだった。

東京電力を活用して調理器を初め、電気で作った蒸気を利用する回天釜や電化厨房機器。給湯も電気で沸かす「エコキュート」。すべてが電化方式であった。また、給食の配送・回収用の出入り口を分けて安全性を図っていた。

PFI方式でもこのセンターは、調理を直営で行っているため、人件費のコストはかかるが、自衛隊の演習場があるため他の施設とは違った方式がとれる施設と感じた。

東京六市競艇事業組合議会

ホートレース江戸川の経過・施設概要について

所感

江戸川を利用した競艇場は興味があった。実際にみると川の北の流れレース場の中の広さなど普通でない競艇場に少な々感激に近いものがあった。

競艇場内にある道路は都所有。都道である。無償で使用。レースがよい日も専有しているとのこと。廃止にもなっておらず恒久的に利用は不思議さがある。

レースに使用している江戸川は都に年間約1億円の金支払っているとのことであった。

江戸川は普通に船の往来がありその情景をみた。少な々感嘆に値する景観とした。

施設改造は施設全社が着々と行っている状況である。

従業員数も平成15年から大きく削減されている。

施設内を視察して感じた事は一時のハッパル時代の名残りが、現在でもすばらしいと感じるものがある。

事業組合構成自治体は一定の繰入が行われていた状況でありかつての東京都の状況から歴史の変遷を感じる。

ホートレース江戸川の経営・施設概要について

所感

そういう意味では歴史を感しさせる競艇場であり、現在モーター、ナイターレースと各競艇場が取り組んで、普通のレース形態で運営しながら新しいイベントと取り組んでいる状況は、ある意味興味をわかせる競艇場であつた。

浦安市

PF1方式による学校給食センターの運営概要について
(千鳥学校給食センター)

所感

岡山県笠岡市に次いで2市目のPF1事業についての視察となり千鳥学校給食センター現地で説明を受けました。

12月議会にてPF1アトハイワリー業務委託米斗24,992千円 ~~の~~ 債務負担を他と合わせ修正案を提出したこともあり納得できるPF1事業の実態を7か所理解することが視察の目的である。

浦安市の担当者には具体的にわかりやすくお尋ねの箇所について明確に回答された。やはり5年間の契約。1週間現場と1週間調理場の業者の組み合わせが違っていたことなどのお気づきの点であった。

これまで11年間で契約以外の予算は支出していないとのこと。ところが地震への被害への修復予算と一部備品以外はまったくなく大きなたらカルモはかつたとのこと。

業者と市とのコミュニケーションも重要なことであり報告書等をつぶしに検証をすすめるという対応であったとのこと。この事は当初の担当者や入札審査委員会がかなり確実に契約内容など

PF方式による学校給食センターの運営概要について
(千鳥学校給食センター)

所感

作成されていると思われる。

今年時の契約終了時の対応について
新年度予算でコンクリートの調査費を計上
するなどのことで4年後をみづめた対応は
さすがと感嘆した。

浦安市より少し早い千葉市はもう少し先に
対応とのことであったと聞いたが浦安市は
その状況を早くつかんでいくとの意志が
あろう。

周南市においても同様の対応がとれる
取り組みとすれば内容のある契約とと
なっていくのではと少々期待は持った。

しかし4年後の更新時に建物はそのままで
厨房などの施設は更新しなければならぬ
となった場合、どうするのかその対応まで
視野に入れておく必要がある。

また残滓のリサイクル 生ごみ発電を行う
などの特徴的又取り組みも述べている。

周南市の取り組み等も知るところで
面密に説明し対応していくか今後の
期待したい。

PF1方式による学校給食センターの運営概要について
所感

富工山が絶景に見える市立南学校給食センター
で視察となった。

昨日の浦安市との比較もできPF1事業としては
3市目となった。

同じPF1事業方式でも調理は直営。

配送回収施設維持管理 ~~運搬~~ 運営費の
中で業者が対応。

生ゴミ処理は平成23年度より ~~徳島~~ 市の一般
廃棄物処理 ~~協同~~ 事業協同組合に収集
運搬を委託し委託料と取り組んでい

ま、メニュー食への対応は体制がととのってあらず
行なっている。

オール電化トライシステム方式とのことである。

全体的にはPF1事業としては物足りないもの
を感じた。やはり調理を直営方式にした

仮況で全体の仕組みが大きく変わったと

おもえる。オール電化について電停電時など

自家発電能力がなければあまりよくないとの

担当者の説明はよく理解できた。

運営した給食の良さもその中である。